

いいとこいっぱい！  
笑顔いっぱい！  
みんなでつくるふるさと はりま



# 第5次播磨町総合計画

令和3年4月からスタートする新たな総合計画を策定しました。  
問合せ 企画グループ ☎079 (4355) 0356

今後10年間のまちづくりの方向性を示す新たな「総合計画」が令和3年4月からスタートします。  
人口減少や少子高齢化など、全国で見られる問題が今後播磨町においても同様に加速していくことで、多くの課題が顕在化することが予測されます。こうした課題に的確に対応し、将来を担う子どもたちをはじめ地域のすべての人が、播磨町に住んで良かったと思えるよう、播磨町がめざす将来像を描き、その実現に向けてどのようにまちづくりを進めていくのかをまとめた総合計画についてご紹介します。

## 新しい総合計画のポイント

- ① 持続可能なまちづくりを実現するため、SDGsの目標と紐づけた計画に
- ② 人口対策に特化した「第2期播磨町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を戦略プロジェクトとして基本計画内に位置づけ

総合計画を分かりやすくまとめた概要版は、広報は

## 総合計画の構成と計画期間

まちづくりの最上位計画である総合計画は「基本構想」と「基本計画」で構成され、町が行う様々な事業を具体的に示す「実施計画」や、人口対策に関する取り組みをまとめた「総合戦略」がこれらの推進を支えます。

## 計画期間

令和3 (2021) 年度	令和4 (2022) 年度	令和5 (2023) 年度	令和6 (2024) 年度	令和7 (2025) 年度	令和8 (2026) 年度	令和9 (2027) 年度	令和10 (2028) 年度	令和11 (2029) 年度	令和12 (2030) 年度
基本構想 (10年間)									
前期基本計画 (5年間)					後期基本計画 (5年間)				
第2期播磨町まち・ひと・しごと創生総合戦略 (5年間)					第3期播磨町まち・ひと・しごと創生総合戦略 (5年間)				

## まちの将来像

播磨町の10年後が「日々の暮らしを快適で便利に過ごすことができるまち」「いつでも安心して暮らせるまち」「心安らぐふるさととして、いつまでも愛し、誇りに思えるまち」でありたいと願い、まちの将来像を次のように決めました。

「いいとこいっぱい！  
笑顔いっぱい！  
みんなでつくる  
ふるさと はりま」

## 3つの基本政策とまちづくり分野

将来像の実現に向けて、以下に示す3つの基本政策に基づくまちづくりを進めます。基本政策は、それぞれ2つのまちづくりの方向性により構成され、これらの方向性を基本としたまちづくりの推進により、将来像の実現をめざします。

## 基本政策1 誰もが安心して安全に暮らせるふるさと

- 方向性1 安心して暮らせるまちへ**
  - まちづくり分野
    - ・地域福祉の充実
    - ・健康づくりの推進と地域医療体制の充実
    - ・子育て支援の充実
    - ・高齢者福祉の充実
    - ・障がい者福祉の充実
    - ・健全な保険制度の運営
- 方向性2 安全に暮らせるまちへ**
  - まちづくり分野
    - ・消防・防災体制の強化
    - ・防犯対策の充実
    - ・消費者安全の推進
    - ・交通安全対策の充実

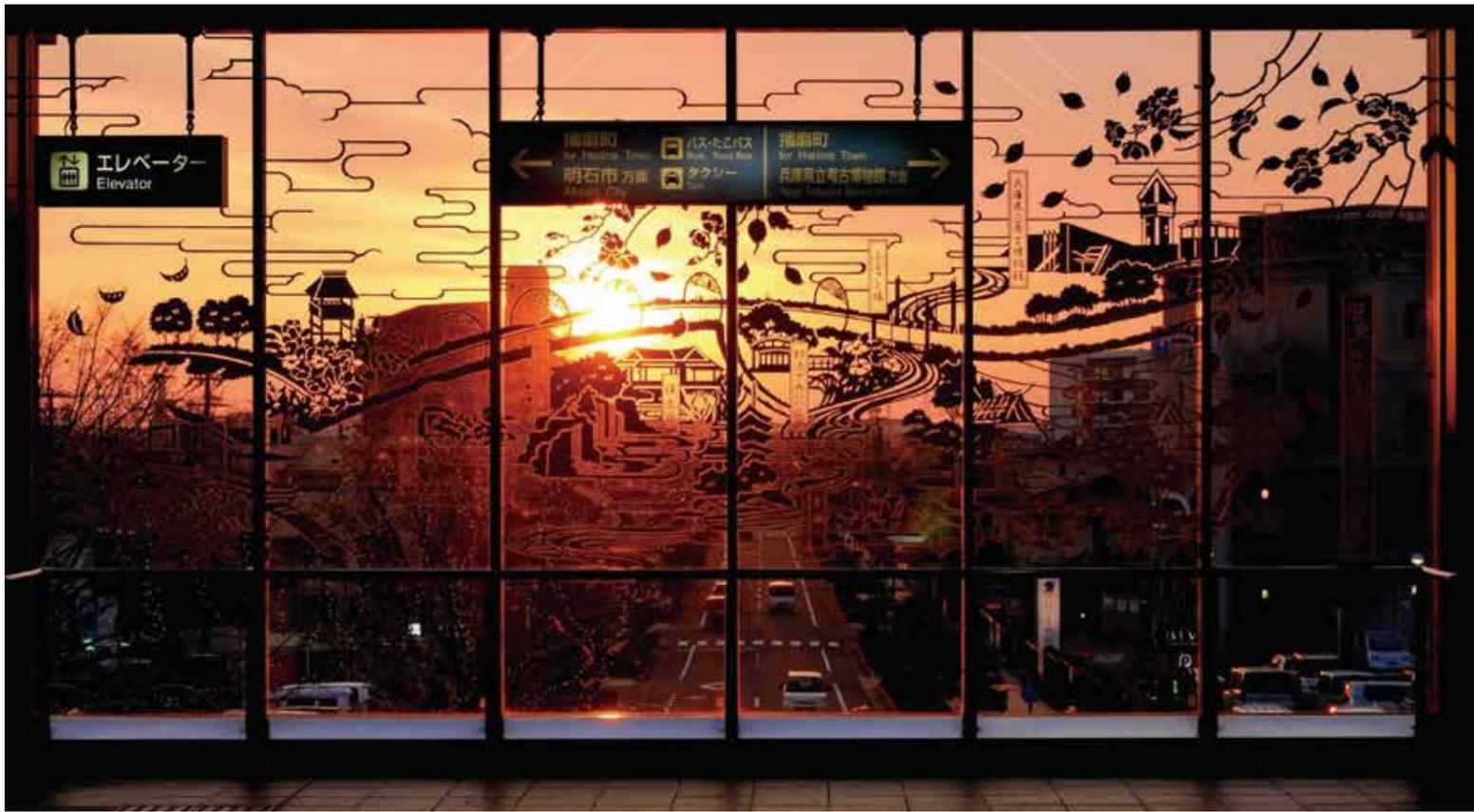
## 基本政策2 身近な自然環境と快適な住環境が調和したふるさと

- 方向性1 うるおいのあるまちへ**
  - まちづくり分野
    - ・市街地の整備
    - ・公共交通の維持・確保
    - ・道路・交通ネットワークの維持・整備
    - ・上・下水道の整備
    - ・バリアフリー・ユニバーサルデザインの推進
    - ・公園緑地と水辺環境の保全
    - ・生活環境の向上
    - ・ごみの減量・リサイクル活動の推進
- 方向性2 活力のあるまちへ**
  - まちづくり分野
    - ・農漁業の振興
    - ・商工業の振興

## 基本政策3 多様な個性と夢をみんなでつなぐふるさと

- 方向性1 人を育むまちへ**
  - まちづくり分野
    - ・子どもたちの学びの充実
    - ・生涯学習の充実
    - ・歴史・文化遺産の保存と活用
    - ・多文化共生・人権教育の推進
- 方向性2 人がつながるまちへ**
  - まちづくり分野
    - ・地域活動の活性化と住民協働の推進
    - ・健全な行財政運営

将来像  
いいとこいっぱい！ 笑顔いっぱい！  
みんなでつくるふるさと はりま

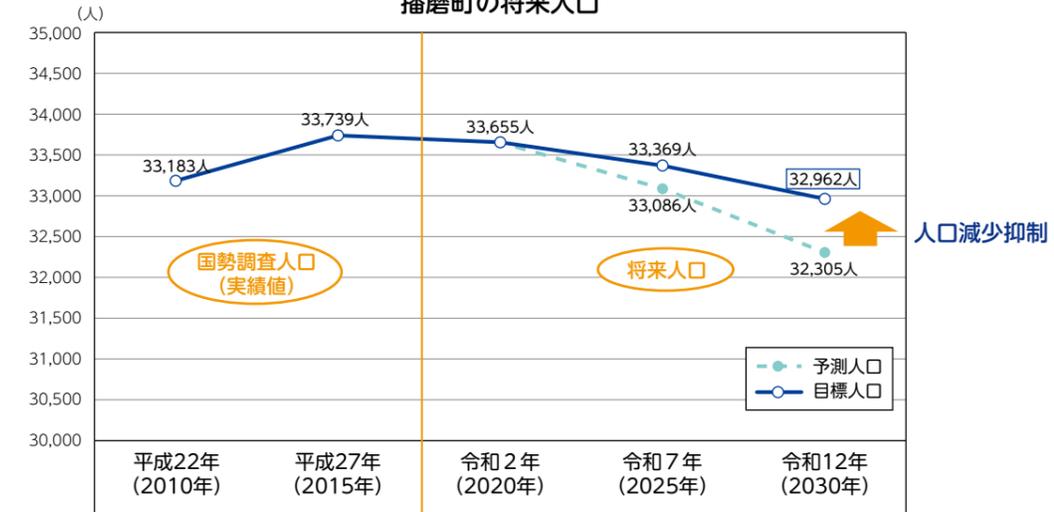


## 播磨町の将来人口

国勢調査による播磨町の総人口は、平成7年以降ほぼ横ばいですが、全国的な少子高齢化や人口減少を背景に、町の将来人口についても人口減少対策をしなければならず、令和12年には3万2千人程度にまで減少することが想定されます。（予測人口）

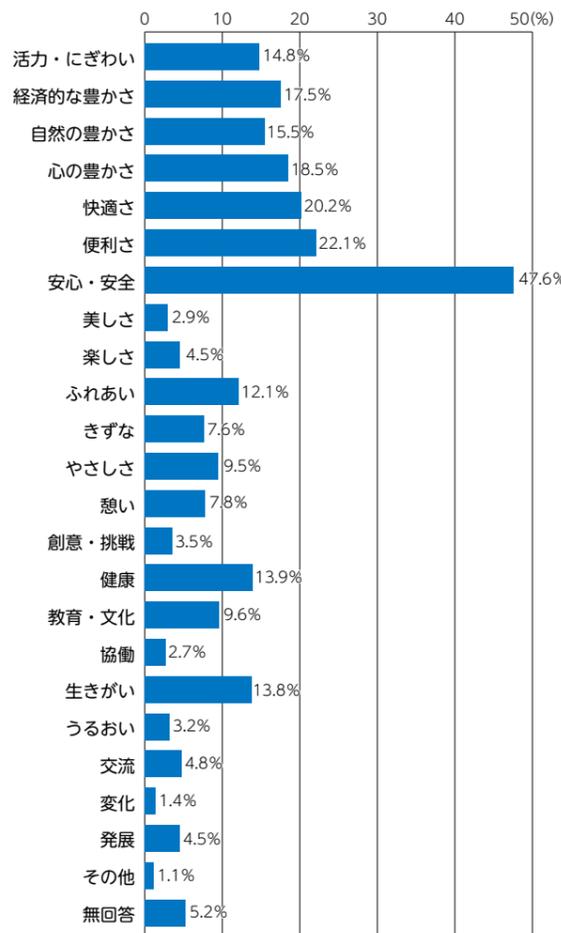
こうした状況を踏まえ、まちの魅力や定住環境の向上などの人口減少対策に取り組み、令和12年には約3万3千人規模を維持することをめざします。（目標人口）

播磨町の将来人口



※国立社会保障・人口問題研究所の推計や平成27年以降の本町の人口動向に基づき推計

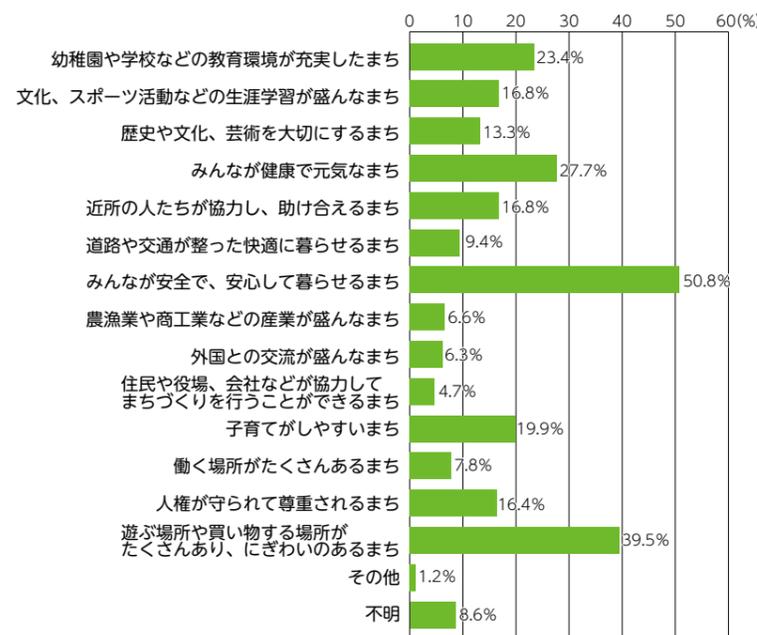
## 今後、めざしてゆくべき播磨町の姿 (住民)



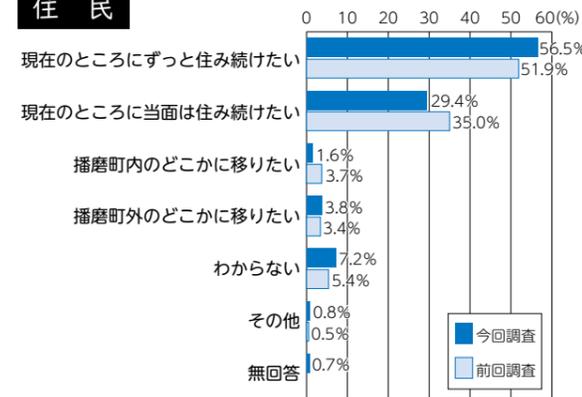
播磨町がめざすべきまちの姿

今後、めざしてゆくべき播磨町の姿について、アンケート調査からは住民・中学生アンケートにも「安全・安心なまち」と回答された割合が最も高いという結果となりました。

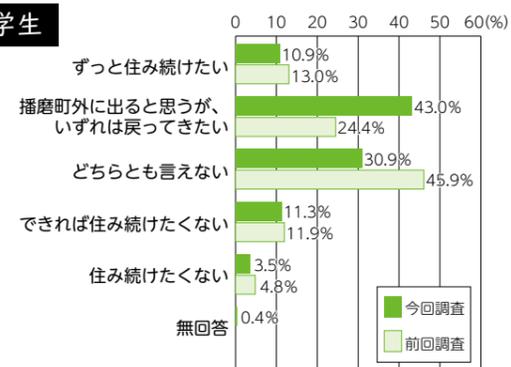
## 播磨町が将来なってほしいまち (中学生)



## 住民



## 中学生



住民・中学生アンケート

播磨町に住む人、播磨町立中学校の生徒にアンケート調査を実施しました。

播磨町内への定住の意向は住民が87.5%、中学生は53.9%でした。

